



平成29年3月15日

各 位

上場会社名 株式会社 高見沢サイバネティックス
 代表者 代表取締役社長 高見澤 和夫
 (コード番号 6424)
 問合せ先責任者 常務取締役 中村 淑寛
 (TEL 03-3227-3361)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,090	410	360	240	27.28
今回修正予想(B)	11,080	110	80	40	4.55
増減額(B-A)	△1,010	△300	△280	△200	
増減率(%)	△8.4	△73.2	△77.8	△83.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	10,890	340	283	201	22.85

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,630	280	170	19.32
今回修正予想(B)	9,030	160	130	14.78
増減額(B-A)	△600	△120	△40	
増減率(%)	△6.2	△42.9	△23.5	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	8,857	241	140	15.95

修正の理由

当期は、メカトロ機器部門において国内向け通貨関連機器が順調に推移しましたが、例年、第4四半期に売上が集中する交通システム機器部門及び特機システム機器部門において、計画の一部が翌期へずれ込んだこと等により売上高が減少しました。また、それに伴い、製品の設置・保守を行っている(株)高見沢サービスの売上高も減少いたしました。

損益面につきましても、徹底した経費の圧縮・原価の低減に取り組んでまいりましたが、売上高が減少したことに加え、主に特機システム機器部門において新製品の立ち上げなどもあり原価率が上昇したことにより、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも前回予想を下回る見込みとなりました。

尚、当期は、前期に比べ試験研究費が増加したこと、また、(株)高見沢サービスの営業損益が悪化したことにより、前期と比べ、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも下回る見込みとなりました。

また、当期は、特に第4四半期に売上が集中する計画であったことから、第2四半期業績予想の修正を公表しました平成28年11月11日時点では、通期の売上高、利益の見通しが不明確であったため、通期業績予想を据え置きました。

期末配当金につきましては、当初予定額(1株あたり5円)を変更しておりません。

(業績予想について)

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上